

弘前・青い森クラウドベース

## 横浜市の企業と提携

### データセンター(六ヶ所)活用

六ヶ所村で大規模なデータセンターを運営している「青い森クラウドベース」(弘前市、長内睦郎社長)は16日、公共システムなどを手掛けるソフトウエア企業「ビー・プラネット」(横浜市、小出隆久社長)と、データセンター、クラウドの両事業で業務提携を締結したと発表した。

自治体や企業の大量の情報をストックできる青い森クラウドベースのデータセンターは昨年12月、六ヶ所村尾較のむつ小川原開発地区に完成。外気と雪水を使った冷房で、室内の機器の発熱を抑える省エネルギー型が特徴となっている。

ビー・プラネットは防災、消防関連など自治体向

けのシステム開発や、インターネットショッピングなど電子商取引の企画、開発や保守などを手掛けている。今回、青い森クラウドベースと販売パートナー契約を結び、同社のデータセンターを活用しながら事業拡大を目指す。

小出社長は取材に「私が秋田県出身ということもあり、東北には目が向いていた。事業の展開次第では今後、青森県に拠点を設けることも検討したい」と述べた。(三好陽介)